

福井総体時のインテグリティ研修資料

※日連Webサイト上に掲載しているデータを用いて本研修の復習のやり方も併せて説明します

令和3年7月14日 20:00~20:30

1. インテグリティとは？

インテグリティとは、誠実・真摯・高潔と訳される、現在の組織経営上重要視されている、組織構成員に求められている倫理規範である。

※ 詳細は、日連webサイトに掲載されている『令和2年度の日連インテグリティ教育事業推進チーム活動報告書』を参照（以下のURLをクリック）

[media-8.pdf\(jabf-revival.com\)](http://media-8.pdf(jabf-revival.com))

2. 不祥事を抑制する概念としてのガバナンス・コンプライアンス・インテグリティ

詳細は、日連webサイトに掲載されている『令和3年度 第2回理事会（6/13）議事録別添資料』2ページ目を参照（以下のURLをクリック）

[post_1298-3.pdf\(jabf-revival.com\)](http://post_1298-3.pdf(jabf-revival.com))

3. インテグリティとガバナンス・コンプライアンスの関係性

日連webサイトに掲載されている『事業報告』→『令和2年度(2020年度)』→『報告書』をクリックすると、【令和2年度活動報告書の構成を構造的に可視化した概念図】というPDFファイルにリンクされている。
[事業報告 - 日本ボクシング連盟\(jabf-revival.com\)](http://事業報告-日本ボクシング連盟(jabf-revival.com))

- (1) (狭義の) **ガバナンス**とは、適所に適材が配置され会議体が適正に運営されること
- (2) **コンプライアンス**とは、体育会系の上意下達等の不文律で組織運営ではなく、外部統制先からの指導内容を内部統制に反映できるよう可視化し、組織構成員の遵守すべき事柄を明確にすること。
具体的には
 - 適所概念を可視化した組織図をwebサイト上に公開している
 - 令和2年度の活動報告書の中に、会議体適正運営の定義や、遵守すべき日連全体の規程体系図等をwebサイト上に公開している
- (3) **インテグリティ**とは、NF構成員の適材要件である。
インテグリティに欠ける状態とは、弱みに付け込んだり重箱の隅をつつき揚げ足を取ること。令和2年度は、ナショナルの会議体の場である理事会で、ナショナルとローカルの立場の分別が無く、弱みに付け込んだり重箱の隅をつつき揚げ足を取るかのような発言によって、会議時間が延伸し会議体としての適正運営が阻害されていたことを反省しなければいけない。
- (4) **エビデンス**（証拠、根拠、論拠、正当性など）を用いた、国民に対する説明責任を果たせる組織運営が今後ますます必要となってくる。